

---

## ＜三重県＞（種別：学校）亀山市立白川小学校

---

### 推薦理由

---

亀山市の北西部に位置し、創立 123 年目をむかえる全校児童 48 名の小規模校である。

学校教育目標を「であい、ふれあい、そして未来へ～自分を発揮し、求め続ける白川っ子の育成～」とし、山間部の豊かな自然の中で地域と密着した体験学習や交流活動を経験することで、未来を逞しくしなやかに生きる力を備え、自分の持つ力を発揮し、自分の思いを追い求める児童の育成に取り組んでいる。

#### 1. 炭の製作、商品化、販売を通じた起業体験

キャリア教育の一環として、入学時から様々な体験活動に取り組み、5・6年生の「総合的な学習の時間」において、まとめの活動として、起業体験活動を実施している。

昔から炭焼きが盛んな地域であり、平成 14 年に地元のことを知ってもらうため近隣の住民らによって校庭に炭焼き窯がつくられ、平成 19 年まで使用していた。その後、劣化により放置されていたが、平成 29 年に小学校の財産として修復を行い、現在は小学校と地域が一体となって炭焼き窯を利用した事業を展開している。

児童は、白川地区まちづくり協議会を主体とした地域の協力のもと、窯での炭焼き、商品化、パッケージ作業、チラシ作成、販売等を行っている。

これらの活動をとおして、よりよく販売するための課題発見やその解決策を考える力、解決策を実行することで諦めずに粘り強く取り組む力、考えを深めるために自分の意見を整理して伝えたり他人の意見を積極的に聞いたりできるコミュニケーション力を育成している。

#### 2. 地域と密着した体験活動・交流活動

全校生徒で行う稲作体験、1・2年生での地域の方が所有する畑で行うサツマイモの苗植え・収穫体験や地域の方の指導による蛍籠づくり、3・4年生での地域のソバ畑で行う種まき・収穫体験や地域のお年寄りのお宅訪問、5・6年生での地域の障害福祉サービス事業所との交流活動や民生委員を講師とした福祉の仕事について学ぶ授業等、多岐にわたる体験活動・交流活動を行っている。これらの活動は、地域や身近な生活などへの興味・関心・意欲の向上や、地域の方と関わることで生まれる社会性の向上、教科の内容の確認・実践化につながっている。さらに、事後の活動として、体験・交流したことをまとめ、発表する活動を行い、表現する力を育てている。

#### 3. 取組の成果

学校評価として保護者に行っているアンケートでは、「学校は、体験活動・児童集会等で、子どもの創意を引き出し、達成感が味わえる活動を行っている」「地域の方との交流や地域に親しむことで、地域への学校の教育活動の発信、地域を大切にすることや勤労生産を大切に思う心の醸成を行っている」の項目において、高い評価が得られている。

また、全国学力・学習状況調査及び、みえスタディチェックの質問紙調査において「失敗を恐れずに挑戦している」「地域の行事に参加している」といった項目の肯定的回答が平均値を大きく上回っており、炭焼きをはじめとする多岐にわたる体験活動や地域と連携したキャリア教育を実施してきた成果と考えることができる。

【ホームページ】 <http://www.kameyama-mie.jp/kblog/shirakawa/>